

2014年11月6日

マレーシアの鋳造工場が量産開始、自動車用アルミ部品の生産体制を強化

昭和電工株式会社（社長：市川 秀夫）は、マレーシア ジョホール州において、これまで進めてきたアルミニウム鋳造工場の建設が完了したことから、本日、竣工式を開催しました。

本日竣工式を行った当社の連結子会社である「ショウティック・マレーシア Sdn. Bhd.」（以下、STM）は、当社グループにおける初の海外アルミニウム鋳造拠点となります。当社グループはすでに鍛造工場の「ショウティック・シンガポール Pte. Ltd.（以下、STS）」を持つことから、今回の STM の竣工により、ASEAN 地域における鋳造から鍛造までの一貫生産体制が整いました。11 月中に量産を開始し、地域内の自動車および自動車部品メーカーのニーズに迅速に応え、旺盛な需要に対応してまいります。

ーショウティック事業についてー

当社グループは、①独自の連続鋳造技術により均一かつ緻密な組織を作り出す、強度・耐磨耗性に優れた連続鋳造棒ショウティック®と、②これを素材とした強度・耐磨耗性・低熱膨張率等の優れた特性をもつアルミニウム鍛造品を、アルミニウム鋳鍛造事業（ショウティック事業）として展開しています。

当社グループは、連続鋳造棒ショウティック®を鍛造用の素材として外販するほか、当社事業所および海外のグループ拠点において、自動車用コンプレッサーやエンジンピストン、サスペンションなどの部品として鍛造加工し、販売しています。

現在、当社はショウティック事業に関して、鋳造・鍛造の一貫生産工場である喜多方事業所（福島県喜多方市）と、鍛造工場であるシンガポールの STS およびポルトガルの「ショウティック・ヨーロッパ」を有しておりますが、今回の STM の竣工により、アジア市場に向けての供給体制の強化を図るとともに、鋳造工程の 2 拠点化により、サプライチェーンの安定性も同時に確保します。

当社では中期経営計画「PEGASUS Phase II」において、ショウティック事業を「基盤（安定）」事業に位置付けています。ASEAN 地域における拡大する市場の開拓に加え、市場で求められる性能・用途を的確に捉え、自動車向け新製品の開発に注力し、本事業の基盤強化を図ってまいります。



(ご参考)

社名 ショウティック・マレーシア Sdn. Bhd.
住所 PLO168, Jalan Persiaran Tanjung Langsat, Kompleks Perindustrian Tanjung Langsat, 81700 Pasir Gudang, Johor.
設立日 2012年10月25日
資本金 48百万リングット (約16億円)
株主 昭和電工株式会社 100%
代表 Managing Director 北谷 康生
事業内容 アルミニウム連続鋳造棒、切断材の製造

以上

◆ お問い合わせ先 広報室 03-5470-3235

*2012年9月28日当社プレスリリース「マレーシアにアルミニウム鋳造工場新設を決定」

【新工場外観】



【竣工式の様子】

